

令和6年度 丹生川中学校 学校経営全体構想

【学校課題・願い】

- 自分の意志をもち、一人でも行動できる
- 自分の考えを表出することができる
- 学力を伸ばすために、一人一人が努力できる
- 仲間の意見を取り入れ、仲間の呼びかけに応えることができる
- 人を大切にし、感謝することができる
- 地域のため、自分に何ができるか考えることができる

高山市小中学校教育

【教育の方針】

郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む

【教育の重点】

挑戦し続けるたくましさの育成
～個と向き合う～

【学校教育目標】

自 ら ・ 共 に

【育てたい資質・能力】

主体的に学びに向かい、人の思いを受け止めながら表出する力

【重点】 力をつける教科指導・心を育てる生徒指導

	「自ら」を育てるために	「共に」を育てるために
学 習	学ぶ楽しさや喜びが味わえる授業づくり	
	・ 個々の意見を表出させる授業づくり ・ 理由根拠を明確にして発言する授業づくり ・ わからない・できない・間違いを出せる授業づくり ・ 効果的な紙ノートとタブレットノートの利用	・ 自分と違う意見を取り入れる授業づくり ・ 誰とでも交流し合えるペア(グループ)学習の設定 ・ わからない・できない・間違いを学び合う授業づくり ・ 仲間の意見を取り入れる ICT の効果的な利用
	★小中で課題を共有した学習姿勢の指導・授業研究会・交流(兼務)授業	
生 活	安全・安心を基盤とし、どの子にも居場所がある学校	
	・ 「新しい自分作り」の心を育てる指導 ・ 「自ら」「一人でも」を行動する姿の認め ・ 仲間の姿を変える呼びかけのある委員会指導 ・ 仲間へ厳しい指摘ができるリーダー指導 ・ 独りぼっちに関わるようにしていく指導 ・ 掃除時間以外でも校舎を自ら美しくする指導	・ 仲間の「新しい自分作り」を大切にする指導 ・ 『一人で』と『共に』行動の違いを定着させる指導 ・ 仲間の呼びかけを、姿で返す集団づくり ・ 仲間の厳しい指摘を支える集団づくり ・ 誰とでもグループを作れる集団づくり ・ 人を大切にしない言動を許さない姿勢と指導
	★小中で連携する生活指導「大きな声の挨拶・合唱・返事・発言」「人の良さ見つけ」	

地域との協働・連携

郷土学習「にゅうかわ学」 「1年:丹生川の自然・歴史」「2年:丹生川の産業」「3年:丹生川のまちづくり」

- ・ 「丹生川のまちづくりのためにできること」を考える学習活動
- ・ 國學院大学との協働研究の推進
- ・ 発信活動(1・2年:丹生川の魅力発信CM制作・3年:丹生川のまちづくり提言CM制作)

家庭・PTA・地域との連携 「学校運営協議会」「すくなく子連携協議会」「支所会議」「まち協」等

小中連携: 願いや課題、具体的指導の共有(管理職会・担当者会・合同全校研究会・小中兼務・小中連動するPTA組織の在り方の検討)

【指導の共通理解】

- ① 子ども・学校・家庭のせいにしない(成長する職員と保護者で在り続ける)
- ② 子どもに軸足を置く(願うのは子どもの成長と幸せ、個々の自立を支援する)
- ③ 働きがいのある職場づくり(健康第一・同僚性・充実感・働き方改革)
 - ◇ 子ども(個)に向き合う(見届け、価値付け、意味指導)
 - ◇ 全職員で全生徒を育てる(認めるべき瞬間、正すべき瞬間を逃さない)
 - ◇ 目の前の課題を組織で解決する(報連相と初期対応。即日複数対応を原則)